



1_ 日本紅（あか）をつくる町推進拠点施設の完成イメージ
2_ 空から降ってくる餅やお菓子を子どもたちは大はしゃぎ
3_ 施設のほとんどに町産木材を活用

日本の紅^{あか}をつくる町推進拠点施設 工事の無事を祈る上棟式

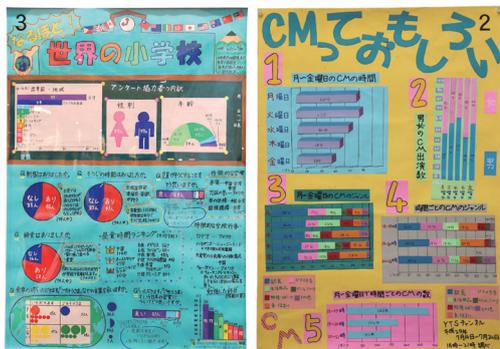
平成29年9月から進めている「日本の紅（あか）をつくる町推進拠点施設整備工事」。その上棟式が27日、山峡の里交流広場で行われました。

上棟式とは、柱・棟・梁などの基本構造が完成し、棟木を上げるときに行われるもので、地域によつては「建前」とも呼ばれます。この日は、十王地区役員、町及び設計・施工業者、そしてよつばこども園の園児など約100人が出席。棟

上げを祝い、今後の工事の安全を祈願しました。佐藤町長は「施設を有効に活用しながら、地域、そして町の発展につなげていきたい」とあいさつ。その後、昔ながらの習わしにのっとり「餅まき」が行われ、園児たちは歓声を上げながら餅やお菓子を拾い集めました。

施設は延べ床面積約800平方メートルで木造平屋建て。建築工事は3月28日までの予定です。

第67回山形県統計グラフコンクール 蚕桑小学校が県統計協会会長賞を受賞



山形県統計協会と山形県の主催による、第67回山形県統計グラフコンクールにおいて、蚕桑小学校6年の青木遥奈さん、岡部優さん、菊地埜々花さん、小林海花さんの作品「CMっておもしろい」が山形県統計協会会長賞に選ばれました。

表彰式は11月30日、山形テルサを会場に開催された第44回山形県統計大会の席上で行われ、東北芸術工科大学教授の大滝左紀斗審査員長から「身近なテーマに

スポットをあて細かく調べている。4人でなければできない作品だった」と講評を受けました。

なお、このほかにも荒砥小学校6年の鈴木美冨さんの作品「なるほど！世界の小学校」が入選しました。また、同席上において、永年にわたり統計調査員としてご尽力された大滝隆雄さんが表彰されました。おめでとうございます。

①表彰式の様子 ②県統計協会会長賞作品「CMっておもしろい」 ③入選作品「なるほど！世界の小学校」

■第67回山形県統計グラフコンクール結果

【山形県統計協会会長賞】「CMっておもしろい」蚕桑小学校6年 青木遥奈さん、岡部 優さん、菊地埜々花さん、小林海花さん
【入選】「なるほど！世界の小学校」荒砥小学校6年 鈴木美冨さん

■第44回山形県統計大会表彰者

【山形県統計協会会長 感謝状(退職統計調査員)】大滝隆雄さん